

平成25年度(平成25年4月～平成26年3月)  
**渡島管内観光入込客数調査**

渡島総合振興局 産業振興部 商工労働観光課

「観光入込客数調査」について

道における観光入込客数調査は、「観光入込客統計に関する共通基準」(H21年12月、観光庁)を踏まえ、平成22年2月に制定した「北海道観光入込客数調査要領」(H9年1月制定に準ずる)に基づき実施しています。

<調査対象市町村>

本調査は、全道の市町村を対象に調査しています。

<実人数>

1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地点を訪れても1人と算出します。

1人の観光客が1回の旅行で宿泊施設に2泊以上滞在しても1人と算出します。

<総数>

市町村の実人数の単純合計です。(実人数に対して、延べ人数となっています。)

1 概況

- (1) 平成25年度(平成25年4月～平成26年3月、以下同様)の渡島管内観光入込客数の総数は、約1,040万4千人で、平成24年度に比べ約61万2千人の増加となり、対前年比で106.2%増となっており、平成19年度以来、6年ぶりに1,000万人を超える水準に回復しました。

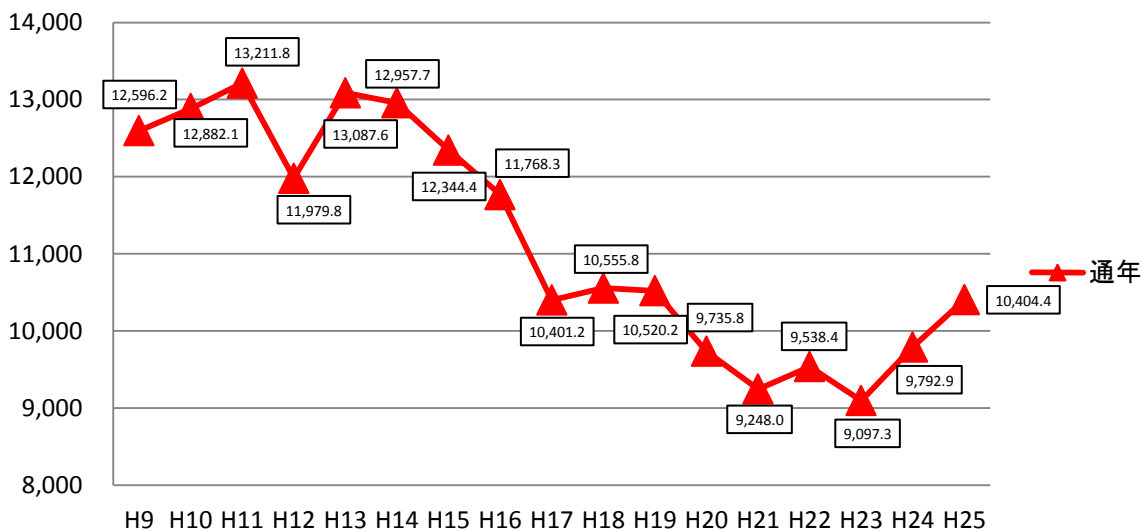
(単位:千人)

| 平成25年度   | 平成24年度  | 増減    | 対前年比   |
|----------|---------|-------|--------|
| 10,404.4 | 9,792.9 | 611.5 | 106.2% |

- (2) 主な要因としては、7月のGLAYコンサートや函館競馬場の長期開催など、大型イベントが続いたことが考えられます。

**観光入込客数経年推移**

(単位:千人)



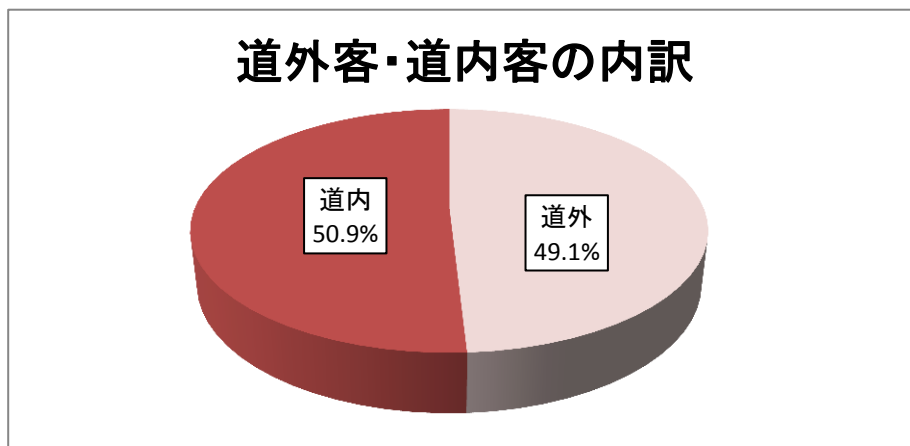
## 2 道外客・道内客の状況

道外・道内観光客別では、道外観光客が約31万3千人の増加、道内観光客は約29万9千人の増加となりました。

道外・道内観光客の割合は、ほぼ同率で、前年同期から大きな変動はありませんでした。

(単位:千人)

|      | 平成25年度   | 平成24年度  | 増減    | 対前年比   |
|------|----------|---------|-------|--------|
| 道外客  | 5,111.5  | 4,798.7 | 312.8 | 106.5% |
| 道内客  | 5,292.9  | 4,994.2 | 298.7 | 106.0% |
| 各年度計 | 10,404.4 | 9,792.9 |       |        |



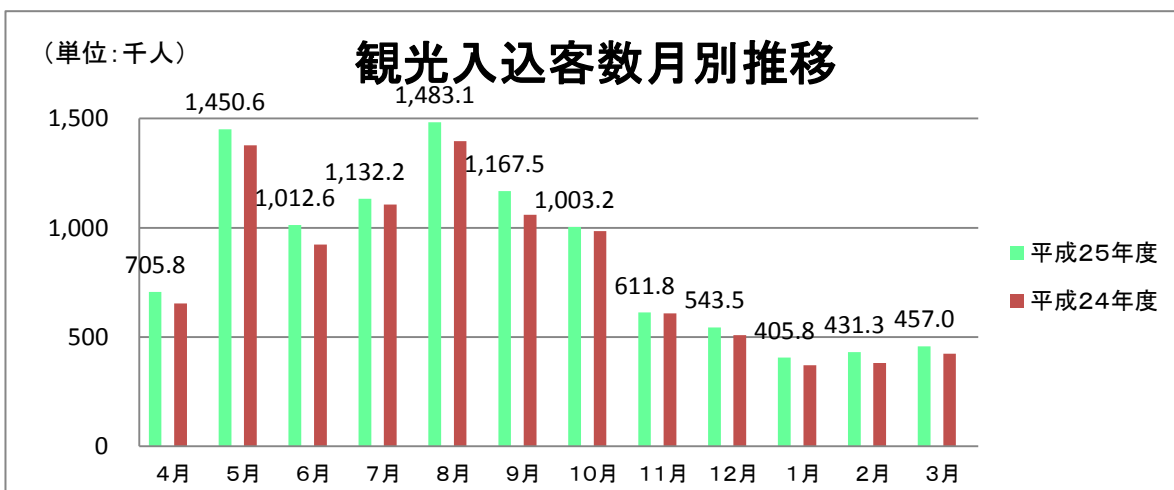
## 3 月別の推移

全ての月において、前年同期より観光入込客数が増加しています。

特に、9月・2月には函館ハーフマラソンや大沼函館雪と氷の祭典などイベント来場者の増加で、対前年比 110%超となっています。

(単位:千人)

|     | 平成25年度  | 平成24年度  | 対前年比   |
|-----|---------|---------|--------|
| 4月  | 705.8   | 654.2   | 107.9% |
| 5月  | 1,450.6 | 1,377.9 | 105.3% |
| 6月  | 1,012.6 | 922.5   | 109.8% |
| 7月  | 1,132.2 | 1,106.5 | 102.3% |
| 8月  | 1,483.1 | 1,397.3 | 106.1% |
| 9月  | 1,167.5 | 1,060.2 | 110.1% |
| 10月 | 1,003.2 | 984.1   | 101.9% |
| 11月 | 611.8   | 607.6   | 100.7% |
| 12月 | 543.5   | 507.9   | 107.0% |
| 1月  | 405.8   | 370.5   | 109.5% |
| 2月  | 431.3   | 380.6   | 113.3% |
| 3月  | 457.0   | 423.6   | 107.9% |



#### 4 市町別の状況

福島町、森町、長万部町の3町が前年度に比べ減少しましたが、函館市、松前町、七飯町など8市町では増加しました。

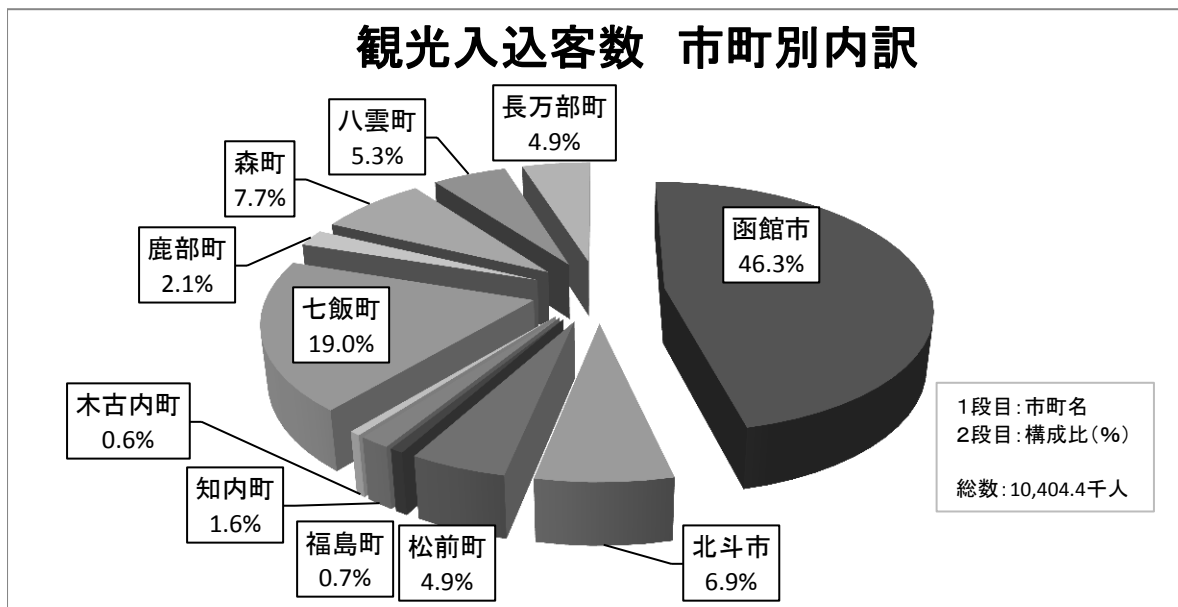
特に、函館市は約31万8千人、松前町は約5万4千人、七飯町は約20万3千人の増加となりました。

これは、道央道 森IC—大沼IC開通により道央からの入込が増えたこと、外国人観光客の入込が好調だったことが主な要因と考えられます。

また木古内町については対前年比119.3%の伸びとなり、JR江差線廃線を控え観光客が増加したのと考えられます。

(単位:千人)

|        | 平成25年度   | 平成24年度  | 増減人数   | 対前年同期比 |
|--------|----------|---------|--------|--------|
| 函館市    | 4,819.1  | 4,501.2 | 317.9  | 107.1% |
| 北斗市    | 718.6    | 693.2   | 25.4   | 103.7% |
| 松前町    | 508.9    | 454.7   | 54.2   | 111.9% |
| 福島町    | 73.0     | 74.0    | ▲ 1.0  | 98.6%  |
| 知内町    | 165.9    | 158.8   | 7.1    | 104.5% |
| 木古内町   | 60.7     | 50.9    | 9.8    | 119.3% |
| 七飯町    | 1,980.6  | 1,777.7 | 202.9  | 111.4% |
| 鹿部町    | 219.7    | 202.3   | 17.4   | 108.6% |
| 森町     | 798.2    | 836.5   | ▲ 38.3 | 95.4%  |
| 八雲町    | 552.3    | 518.1   | 34.2   | 106.6% |
| 長万部町   | 507.4    | 525.5   | ▲ 18.1 | 96.6%  |
| 各年度上期計 | 10,404.4 | 9,792.9 | 611.5  | 106.2% |



平成25年度 渡島管内各市町観光客入込状況

(単位:[上段]千人 [下段]%)

| 市町名  | 入込数     | 内訳      |         |         |         | 主な増減要因等   |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---|
|      |         | 道外客     | 道内客     | 日帰客     | 宿泊客     |   |
| 函館市  | 4,819.1 | 3,124.5 | 1,694.6 | 1,773.7 | 3,045.4 | 7月以降のJR北海道函館本線における出火事故等による運休があったものの、前年11月開通の道央自動車道「森一大沼公園IC」が好調でバス・乗用車の利用客が増加した。<br>また、前年度9・10月就航の函館―台北線の定期便が好調で台湾観光客が増加。函館競馬場長期開催、GLAY野外ライブ、函館ハーフマラソン大会等の大型イベントもあり昨年度より増加した結果となった。 |
|      | 107.1   | 105.4   | 110.2   | 117.5   | 101.8   |   |
| 北斗市  | 718.6   | 30.0    | 688.6   | 686.7   | 31.9    | 5月の「桜回廊イベント」開催では「うそ」による被害のため昨年より入込客数が大幅減となったが、7月のGLAYコンサート開催、スポーツ合宿実施団体数の増により入込客の増となった。   |
|      | 103.7   | 98.0    | 103.9   | 102.5   | 137.5   |   |
| 松前町  | 508.9   | 106.4   | 402.5   | 460.5   | 48.4    | 5月に開催された「松前さくらまつり」期間中の入込客数は前年比4万2,500人の増加となった。桜の開花が遅れ、開催期間が1週間長くなったことやテレビ番組に取り上げられたことが要因として考えられる。また9月に開催された「マグロまつり」の入込客数も昨年の倍以上の15,200人となり、冬期間の寒のりPRの影響で道の駅北前船の利用客が増加した。            |
|      | 111.9   | 112.1   | 111.9   | 114.5   | 92.2    |   |
| 福島町  | 73.0    | 7.2     | 65.8    | 70.7    | 2.3     | 横綱記念館・青函トンネル記念館及び吉岡温泉、道の駅の入込数については概ね横ばい若しくは1割程入込増として推移はしているが、海峡横綱ビーチ海開き後の休日(土曜日・日曜日)の天候不良によりビーチ入込数の大幅な減へ繋がってしまった。   |
|      | 98.6    | 102.9   | 98.2    | 98.5    | 100.0   |   |
| 知内町  | 165.9   | 49.3    | 116.6   | 149.8   | 16.1    | 8月のイベント、サマーカーニバルin知内の来場者数が減ったことによる減少(北島音楽事務所の所属タレントの出演がなかった事による)あったものの、2月のカキニラまつりや、3月のJRしりうち駅廃止による観光客は大幅に増加した。  |
|      | 104.5   | 99.8    | 106.6   | 104.1   | 108.1   |   |
| 木古内町 | 60.7    | 8.4     | 52.3    | 58.0    | 2.7     | JR江差線廃線に伴う観光客が増えたため。  |
|      | 119.3   | 155.6   | 114.9   | 119.3   | 117.4   |   |

※下段は対前年同期比

(単位:[上段]千人 [下段]%)

| 市町名  | 入込数            | 内訳             |              |                |             | 主な増減要因等  |
|------|----------------|----------------|--------------|----------------|-------------|--|
|      |                | 道外客            | 道内容          | 日帰客            | 宿泊客         |  |
| 七飯町  | <b>1,980.6</b> | <b>1,390.2</b> | <b>590.4</b> | <b>1,897.7</b> | <b>82.9</b> | JR特急減便により道内容は減少しているが、台湾を中心としたインバウンドが増加。道外客は個人型連泊プランも増え、顧客単価も高い。特に、東北地域(宮城・秋田)からの入込が目立つことや、ファミリー層でのレンタカーパックも増加している。函館圏でのイベント(GLAY等)においては業種により入込客の増減あり。            |
|      | 111.4          | 119.1          | 96.8         | 110.8          | 126.2       |  |
| 鹿部町  | <b>219.7</b>   | <b>19.2</b>    | <b>200.5</b> | <b>182.6</b>   | <b>37.1</b> | 8月しかべ海と温泉のまつりは悪天候のため前年比2,000人減となった。各旅館については個人客の利用者が増えているが、鹿部ロイヤルホテルについては改修に伴う休業で前年比2万人の減少となった。また各観光施設や鹿部公園の入込は、各種イベントの実施等により前年増となった。                             |
|      | 108.6          | 86.1           | 111.4        | 122.1          | 70.4        |  |
| 森町   | <b>798.2</b>   | <b>56.6</b>    | <b>741.6</b> | <b>732.2</b>   | <b>65.9</b> | 桜まつりの開催期間を1週間延長したが、桜の開花が遅れたため観光客の入込は昨年より減少。また、夏のまつりinもりが2日開催から1日開催に変更したことや、夏～秋にかけて大雨や台風の影響により、三業まつりの中止や、さわらふるさとまつりの会場変更、秋口のイベントも悪天候の影響があった。下期については外国人宿泊客が増加している。 |
|      | 95.4           | 39.4           | 107.0        | 95.5           | 95.0        |  |
| 八雲町  | <b>552.3</b>   | <b>151.1</b>   | <b>401.2</b> | <b>532.5</b>   | <b>19.8</b> | 各種観光事業の取り組み・宣伝効果もあって震災前年である平成22年度の水準を超えるに至った。下期については各月10%超の増加となり、噴火湾パノラマパークやハーベスター八雲の入込が好調。1月に八雲町情報交流物産館「丘の駅」がオープンしたことも好因となっている。                                 |
|      | 106.6          | 109.6          | 105.5        | 106.5          | 108.2       |  |
| 長万部町 | <b>507.4</b>   | <b>168.6</b>   | <b>338.8</b> | <b>489.1</b>   | <b>18.3</b> | 長期間にわたるJR特急の不通にかかるとなる減少が主因。  |
|      | 96.6           | 95.7           | 97.0         | 96.2           | 107.6       |  |

※下段は対前年同期比